

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 おかしいぞ鶴ヶ島（60分）</p> <p>（1）全国学力・学習状況調査(学力テスト)の結果公表は、慎重であるべきです</p> <p>市立中学校であいついだ転落事故 何が子どもたちに起きたのか市民は心配しています。市と教育委員会はそうした市民の心配に答えるべきです。そんな中、4月23日の埼玉新聞は、「学力テスト学校別成績42市町村公表せず」「序列化、過度な競争危惧」と報じその後の見出しには、「鶴ヶ島、横瀬は公表へ」と書かれています。文中には19市町は検討中とも報じています。そして鶴ヶ島のある市立小学校の“学校だより”には公表は全国2%、鶴ヶ島市はその中に入る、8月下旬に6年生の学テの結果を公表する方向で進めて参りますと保護者にお知らせしています。</p> <p>ア どのような経緯で「公表」を決めたのか 市長は関与したのか</p> <p>イ 「公表」のメリット、デメリットをどう判断したのか 教育委員会は全会一致か 公表予定実施率2%という状況から再度、市教育委員会を開く必要がありますがいかがですか</p> <p>ウ このことについて“おかしいぞ 鶴ヶ島”という声にどう応えるのか</p> <p>エ どのような内容の公表をしようとしているのか</p> <p>（2）東部保育所の廃止は、少子化対策など時代の要請に逆行しています。</p> <p>20～39歳の女性がどんどん流出し、25年後の2040年には「極点社会」が出現するという試算が出され大きな関心事になっています。埼玉県内では20～39歳の女性の予想減少率が50%を超える自治体が21自治体を数えます。この予想には当市は入っていませんが、施策を間違えると確実に「消滅可能性」自治体に入ります。当市が取るべき少子化のための施策は、安心して育てられる公立の保育所を軸に民間も含めて配置していくことです。</p> <p>今回の一方的な東部保育所の段階的廃止発表は、保護者、保育士、地域の方々の怒りを呼んでいます。先般開かれた集会には約50人の保護者、保育</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>士、地域の方々が集まりました。発言者の中では「40数年前、保育所つくり運動をしました」と述べておられました。今年の4月1日の待機児童数は全体で15人とのことです。東部保育所では1名です。この4月1日現在の0歳から4歳までのお子さんの数は2759人です。保育所、幼稚園に入所していないそれぞれのご家庭で育てられているお子さんは800人を超えていると思われます。消費税増税を含めて公租公課が上がり、賃金が大幅に下っている中、働きに出る若い世代はますます増大すると思われます。こういう中での公立保育所の閉鎖は“何だ 鶴ヶ島は”という風評として広がっていきます。</p> <p>今回の段階的閉鎖計画をその通りに実行していくと異年齢保育ができなくなります。今年、8月に保護者に入所先の意向調査をしておりますが、新しくできる民間保育所は、当然、80人定員一杯の入所数確保に走ると思われます。そうすると段階的計画的に縮小していくと年度の段階的に2年後には1歳児が3年後には1歳児と2歳児がという具合に入れないう児童、待機児童が増えていきます。これは自明の理ではありませんか、2年後から待機児童が増え続けていきます。理論値としては現在の東部保育所入所数からゼロ歳児を引いた数に、プラス恒常的待機児童数15人をプラスした141人が待機数となります。また、東部保育所では数年前、保育士さんが足りないという時期がありました。そのとき正保育士さんもパート保育士さんも力を合わせて保育士さん確保に奔走したことがありました。今回の計画発表で保育士さん達の力を削ぎ、雇用不安をつくりだしてあります。</p> <p>ア 東部保育所の閉鎖計画を撤回するべきですが</p> <p>イ 待機児童対策をどうすすめていきますか</p> <p>ウ 保育士さん達の処遇をどうしていきますか</p> <p>エ 新しく出来る民間保育所の着工状況は</p> <p>(3)「地域まちづくりセンター」に公民館を埋没させてはならない</p> <p>もし、公民館が鶴ヶ島市から消えたなら、それこそ“おかしいぞ鶴ヶ島”</p>	

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>になってしまいます。これまで 鶴ヶ島といえば公民館、公民館といえば鶴ヶ島とも云われ、市民意識の高さを象徴してきました。市民の誇りでありました。そこで作りだされ、かもし出された文化が地域支えあいや学校を支える力などに発展しているのです。そののこのところを見誤ってはなりません。市民に配布されている案では、(仮称)地域まちづくりセンターは機能として「行政の出先機関」、「福祉、健康づくり、子育て、防災」、「生涯学習」、「協働まちづくり」、「情報の拠点」を挙げ、3つの業務を掲げています。今日、各公民館の周辺を見回すと福祉介護施設が沢山できています。行政の力による地域包括支援センターが活動しています。それに地域支えあいの会があり、一人暮らしなど生活弱者にネットワークの手を差し伸べようとしています。公民館活動として健康づくりサークルもありますし、学童保育や子育てサークル、学校応援団、中学校単位には健全育成があります 自治会ではコミュニケーション向上につとめており、防災活動に努力され、連携も広がっています。</p> <p>いま必要なことは各公民館を軸に職員4,5人のコーディネーターを配置して有機的に結び付けていくことです。</p> <p>ア 地域の状況をどう分析しているのか</p> <p>イ 公民館の名前をなくすのか 例えば南公民館&amp;地域センターというようにすべきではありませんか</p> <p>ウ 今年12月には条例を上程するとしていますが時期尚早ではありませんか コーディネーターの教育が先決です。</p>	